

蘭越町議会一般質問データベース(H11.6～H26.5)

質問要旨	答弁要約	質問者	議会だより
昆布高台地区リゾート開発違約金は返還されたのか	乱開発防止などの協定に基づき、現在も預託されている	阿部正昭	平成11年6月
不在老朽化住宅の管理を徹底させる対策が必要ではないか	所有者の理解が不可欠行政指導の及ぶ範囲も含め検討したい	阿部正昭	平成11年6月
回収不能の融資を保証する小口融資制度を新設できないか	金融機関の意見も伺い、可能かどうか検討したい	熊谷和幸	平成11年6月
65歳以上の介護保険料はどれくらいになるか	介護サービスの水準により保険料が変わるできるだけ早く試算額を示したい	佐藤辰夫	平成11年6月
男女平等な職員研修の今後の考え方を伺いたい	男女の性別にとらわれず、職員個々の能力、意欲を最大限生かしたい	中島溢子	平成11年6月
11年度の土木、建築工事の総事業費はどれくらいか	実施設計はしていないが、約21億円になる	中島溢子	平成11年6月
公共工事費前金払制度の運用基準はどのようになっているか	1千万円以上の工事は、3割の前金払いを実施している	中島溢子	平成11年6月
パークゴルフ場の使用料は無料でよいのか	当分は現行のまま無料で実施したい	中島溢子	平成11年6月
観光PRのため旅行作家に当地を理解してもらう事業へ援助は	事業の企画内容が決まった段階で検討し対応したい	新見健	平成11年6月
国旗国歌について教育委員会では、どのように指導しているのか	国旗を掲揚し、国歌を斉唱するよう指導しているが、最終的には校長の判断で行う	新見健	平成11年6月
商店街活性化の具体的な取り組みを伺いたい	国の支援事業の認定を受けるための基本計画をつくる組織を設置する	新見健	平成11年6月
町長の考える農村の将来像とは	単なる食料生産基地ではなく、住み良く活力のある農業、農村空間を期待したい	堀正	平成11年6月
介護認定には生活実態も含め総合的に判断できるものにすべき	認定後に作成されるケアプランの中で生活実態が検討されることになっている	柳谷要	平成11年6月
ごみ最終処分場は、地域の理解を得るよう配慮していただきたい	内容について各方面ごとの説明会を実施する	山本里志	平成11年6月
老人趣味の作業所を撤去し、旧幽泉閣跡地と土地利用すべき	使用可能であれば現在地から撤去し再利用をしたい	阿部正昭	平成11年11月
平成12年度中までに、どのような委員会の委員を公募するのか	策定中の環境基本計画を具現化するための委員会を設置し公募したい	阿部正昭	平成11年11月
「自立」の判定の場合ホームヘルプサービスの継続はできないか	制度の進行、内容を十分見極めながら検討したい	熊谷雅幸	平成11年11月
旧庁舎の内部を博物館にしてはどうか	単体の施設ではなく、多目的施設の建設を検討している	谷内嗣	平成11年11月
ごみ中間処理施設の誘致についてどの程度進められているのか	建設場所についてはこれからの協議となる	中島溢子	平成11年11月
本町での直接払い制度に対する取組み方は	現在、対象農地について実態調査を行っている	中島溢子	平成11年11月
道が分権社会に備えた市町村の体制整備と合併案を作成したが	重大なことを決めるときは議会の皆様、住民の皆様のご意見をいただき慎重に対応	阿部正昭	平成12年6月
再生マスタープランの今後住宅地の建設などの計画について	公営住宅立替、適正な推進をめざして策定した	熊谷雅幸	平成12年6月
介護保険に認定されなかった方々に独自のサービスが大切と思う	町内会や振興会等で議論を重ね、ご助言を賜りたい	酒谷敏男	平成12年6月
町村合併については時期的にいつごろ、展開されていくのか	課題点が多く時間をかけて慎重な検討が必要	酒谷敏男	平成12年6月
特に尻別川、目名橋より上流、栄橋兩岸の整備は	小樽開発設計部とも十分協議を行い、自然環境と調和した川づくりを目指している	中島溢子	平成12年6月
ニセコ山系広域では入込み客は年々増加傾向にあるが本町では	既存の観光資源の再整備を含め、真に休養のできる取組みをして行きたい	中島溢子	平成12年6月
中心市街地活性化対策策定の具体化について	現在商工会により「蘭越まちづくり委員会」が主体となり活性化に向け協議を進めている	中島溢子	平成12年6月
継続を実現できなかった場合受益者の辞退がいるのではないか	全道的な継続要望の多い中で、13年度以降は新たな制度になるが事業継続を要望している	中島溢子	平成12年6月
中山間地等、直接払い制度についてどの程度の町費が必要か	急傾斜農地を対象とした大まかな調査結果では、2600万円程度になると推計している	中島溢子	平成12年6月
国の方針が明確ではないが4月に向けて最終段階に達したと思う	希望どおりサービス提供出来るよう最大限の努力をします	新見健	平成12年6月
観光振興の対策としての温泉で健康づくりとはどのような施策か	地元業者の発想を大切にしてお合意形成を具現化したい	新見健	平成12年6月
職員の能力向上、人格形成に研修の機会をつくり実施すべき	人材育成を図るべく積極的に、研修・派遣に取り組んでいる	新見健	平成12年6月
人気のスポーツとなっているサッカー場を建設すべきと思うが	建設に要する多額の費用等検討課題が多い	新見健	平成12年6月
中心街がさびれ、「地域の顔」として残念な状況にある	町が作る市街地の整備改善の事業、商工会が作成する商業等の活性化メニューで具現化	新見健	平成12年6月
町のホームページの活用について	宣伝効果は計り知れず、ホームページの誘致について検討して参りたい	熊谷雅幸	平成12年11月
中心市街地活性化法について	地域の特色と住民の意向を十分活かした基本計画の樹立に向け、対応する	熊谷雅幸	平成12年11月
公共工事、排出土石等の有効利用について	残土堆積は土地の付加価値が上がらない事が原則	中島溢子	平成12年11月
中心市街地活性化対策計画について	商工会や商工業者との連携を一層密に、計画策定に取り組みたい	中島溢子	平成12年11月
私道の整備について	特別な場合はその都度検討するが、私道整備を全面的に実施することは、非常に困難	中島溢子	平成12年11月
名駒小学校閉校後の諸課題について	地域の意向がまとも次第、関連機関とも相談しながら具体的に進めて参りたい	中島溢子	平成12年11月
229号線トンネル工事完成後の現道の有効利用	状況を良く見極め、安全性の確保や財政面での影響等も含め、検討をして参りたい	中島溢子	平成12年11月
昆布地区に公営住宅の新築を	関係機関と協議をし、建設が可能かどうか要請を重ねたい	藤原秀雄	平成12年11月
塵芥処理計画について	物の資源化を図る循環型社会の構築に寄与出来るよう、住民の皆さんと共に取り組んで参りたい	阿部正昭	平成13年3月
雪秩父に入浴券の券売機設置について	入浴券の券売機の設置をいたす考えております	阿部正昭	平成13年3月
遊休町有牧場の利用について	私達の生活に欠くことのできない重要な役割を担う山林として活用するよう検討して参りたい	阿部正昭	平成13年3月
支庁及び町村の再編について	住民の皆さんの意見をいただきながら対処していきたい	中島溢子	平成13年3月
羊蹄山麓町村の焼却計画と本町の対応	新設することの許認可は不可能、可燃ゴミや生ごみは中間処理を行い、埋立地の延命を図る	中島溢子	平成13年3月
原発振興特別都市法成立と本町の関係	北海道や周辺町村の動向など情報収集に努めるとともに、対応を検討して参りたい	中島溢子	平成13年3月
補正予算と明年の予算編成について	最少の経費で最大の効果を挙げるべく、最善の努力をいたしたい	中島溢子	平成13年3月
町内景気浮揚の為に地元業者に工事の発注を	国・道等の状況を見ながら検討してまいりたい	藤原秀雄	平成13年3月
蘭越町12年産米全道最低の作況をどう考え対策は	安定多収穫とタンパク含有率を下げる両立の技術対策を関係団体からご意見をいただき対応	藤原秀雄	平成13年3月
高齢者や障害者の住宅環境	蘭越市街地でのケアハウスの建物、現時点では難しい	熊谷雅幸	平成13年6月
町立診療所の運営について	看護師等の人的確保、管理・運営費用の面から検討し、当面は現在の推移を見守る	中島溢子	平成13年6月
消費税の還付と町職員の研修	勉強や研修を行い、職員に研鑽させ、二度とこのような事態が発生しないよう徹底する	中島溢子	平成13年6月
路線バスに対する補助金について	町有バスを運行し、広域的・幹線的な路線は、引き続きニセコバス株式会社に運行する	中島溢子	平成13年6月

米の流通と、今後の農政について	「らんこし米」の安定生産を基本に、稲作農家の経営の安定を図るべく努力する	中島滄子	平成13年6月
道路の整備について	町道は改良舗装工事、舗装工事、道路照明灯設置、カーブミラー設置	中島滄子	平成13年6月
助役の呼称について	現時点においては、法律を改正しなければ名称変更は困難である	中島滄子	平成13年6月
町村合併について	地域の自然的に条件、歴史的背景等を検討し、啓発活動を通して住民の皆さんと考えていきたい	新見健	平成13年6月
雪秩父及びチセヌプリスキー場の将来	広く意見や考え方を聞き、今後手順を踏んで進める	新見健	平成13年6月
グリーン・ツーリズムの推進について	活力と潤いに満ちた農村づくりのため、農地レンタル代による手法も可能か検討する	新見健	平成13年6月
観光客誘致に対する方策は	観光に携わる皆さんのご意見を聞き、行政としてできる範囲の対応をしたい	藤原秀雄	平成13年6月
市町村合併の推進について	市町村合併庁内検討委員会で調査、検討し、町民の皆さんに正確な情報を提供していく	阿部正昭	平成13年9月
成人式について	参加者の7割が8月開催に賛同だが、今後関係機関、団体と相談しながら検討してまいりたい	阿部正昭	平成13年9月
原発特別法による地域指定への今後の見通し	関係町村と連携しながら情報収集に努め、北海道への要望を図ってまいりたい	酒谷敏男	平成13年9月
有害化学物質のポリ塩化ビフェニール蛍光灯の施設があるか	調査を行い、該当機器は交換し、現在は無い	酒谷敏男	平成13年9月
後志総合開発期成会の動きについて	国・道に対し、総合開発推進のための要望を行っている	中島滄子	平成13年9月
患者輸送バスの利用について	毎週木曜日、金曜日は満車の状態となっているが、実現性について今後検討してみたい	中島滄子	平成13年9月
農業委員の定数について	農業委員会で組織見直しの申し出があれば、総合的かつ慎重に対応してまいりたい	中島滄子	平成13年9月
高齢者生活福祉センター利用状況	2ヶ所を有効活用し、一層のサービス向上に努め、利用者の増加を図りたい	中島滄子	平成13年9月
生涯学習センター建設の見通し	本町にとって必要であるとの町民の意向であれば建設に向け最善の努力をしていく	新見健	平成13年9月
パークゴルフ場の整備について	身の丈にあったパークゴルフ場として、今後も整備し、町づくり、地域振興等に役立てたい	新見健	平成13年9月
旧名駒小校舎の活用について	地域の意向を尊重し、出来ることから進める	新見健	平成13年9月
基盤整備事業について	道が事業主体であり、発注行為の地元への権限移譲は難しい	熊谷雅幸	平成13年12月
ごみ処理施設について	交通安全に十分配慮し、安全運転に努めるよう周知・徹底を図っていく	熊谷雅幸	平成13年12月
公共施設についての企業会計の手法取り入れ	行政コスト計算書の作成を検討し、運営のより一層の効率化を図っていききたい	中島滄子	平成13年12月
本町の農業の将来について	国際市場の展開も見据え、柔軟にしなやか性をもった対応をしていきたい	中島滄子	平成13年12月
花だん用花苗の配分について	限られた本数の中で、花いっぱい会へ依頼し調整しているが、希望に沿うよう検討していく	中島滄子	平成13年12月
行政事務及び事業評価システムの導入について	行政評価の手法については、本町に見合う手法で実施していきたい	新見健	平成13年12月
水田の転作は合理的な指導を	蘭越町水田農業推進協議会・同作業部会の協議決定を尊重し、慎重に対応していく	藤原秀雄	平成13年12月
職員の綱紀の肅正について	町民の皆さんから批判されることのないよう十分再認識させ、一層厳しく指導していく	藤原秀雄	平成13年12月
高齢者コミュニティセンター（昆布）の利用促進	条例に抵触しないように前向きに検討したい	阿部正昭	平成14年3月
湯里小学校校舎、教職員住宅の活用について	地域の意向を尊重し、検討していきたい	阿部正昭	平成14年3月
シーサイドパーク港構想の今後の見通し	地区活性化委員会と十分協議し、推進にあたりたい	酒谷敏男	平成14年3月
市町村合併について	情報の共有化と意思の疎通を図り、情報提供をしていきたい	酒谷敏男	平成14年3月
港地区に多目的高齢者福祉施設の建設を	今一度可能性について、協議・検討してみたい	酒谷敏男	平成14年3月
町村合併について	合併問題に対する温度差がある今後、懇談会等で多くの情報提供をし議論していきたい	中島滄子	平成14年3月
本町の土木建築業の現状と今後の課題	業者自ら企業体質の強化、改善を進めることが急務	中島滄子	平成14年3月
磯谷トンネルの整備について	関係機関へ早期着工に向け要望していきたい	中島滄子	平成14年3月
低家賃住宅の建設について	地域の需要や将来見通しや、財政事情を見極め厳選していきたい	中島滄子	平成14年3月
選挙の電子投票制度の取り入れ	選挙管理委員会と協議し、制度のメリット、デメリットを十分検討していきたい	中島滄子	平成14年3月
新年度の予算編成方針について	住民生活に期待と希望のもてる予算編成に最善の努力をしたい	中島滄子	平成14年3月
町村合併問題と蘭越町の町づくりの課題	町の主人公である住民の意見を最大限尊重し、身の丈にあった行政を推進していきたい	柳谷要	平成14年3月
市町村合併について	意向調査を実施し、議会の方と協議し取り進めていきたい住民の意思決定後判断したい	阿部正昭	平成14年6月
中心街地活性化について	アンケートに基づき協議・検討。今後、基本計画案を作成し、推進協議会に提案していきたい	五十嵐年和	平成14年6月
高収益作物のブランド化と販売拡大	町直営センターの販売、農作物直売所開設支援等、地場消費を中心に販路拡大に努めていく	五十嵐年和	平成14年6月
名駒（さと川）開発について	さと川づくり事業検討委員会拡大会議と協議しながら、施設の有効利用を図っていききたい	熊谷雅幸	平成14年6月
東アジア地域の観光客誘致について	東アジア地域の旅行幹旋業者の招聘を今後検討していきたい	新見健	平成14年6月
学校教育と社会教育の連携について	学校、教育委員会の職員の連絡協議会を組織し、支援等の検討等に取り組んでいきたい	新見健	平成14年6月
子育て支援について	嘱託子育て支援センター指導員を配置し、各事業の推進を図りたい	新見健	平成14年6月
住民自治の確立と職員の意識改革	資源リサイクル運動、花いっぱい運動、若人のふれあい広場、集団の育成活動等の推進	新見健	平成14年6月
都市住民と農村づくりについて	農作業等の体験型交流の推進や、ホームページによる情報提供をしていく	新見健	平成14年6月
少子化の中での子供達の教育について	学校統合は、教育委員会と連携を密にし、父母の皆さんの意見を把握し取り進めていきたい	藤原秀雄	平成14年6月
厳しい財政下のもとでの痛みの分かち合い	行政改革推進事項を進めているが、事務事業の徹底した見直し等の協議をしていきたい	藤原秀雄	平成14年6月
ごみ収集の有料化について	議会、町民の皆さんと協議を得て、有料化の取り組みに当たりたい	柳谷要	平成14年6月
尻別川に架かる町費架橋の維持管理のあり方	長期的年次計画での実施を検討しながら、開発局とも対策について協議、要請をしていきたい	柳谷要	平成14年6月
蘭越高校の現状の今後について	蘭越高等学校2間口維持施策検討委員会を中心に協議を進め、学校存続に可能な限り努力	中島滄子	平成14年6月
商工業の振興について	技術の向上や企業体質の改善、人材育成に積極的に取り組んでいくよう指導強化に努めたい	中島滄子	平成14年6月
229号線と磯谷線の交差点付近の整備	道と地域関係者にご協力を願ひ、早期の事業推進に向け積極的に取り組んでいきたい	中島滄子	平成14年6月
中山間地域等の支払い制度の普及と農業予算	各集落協定間の情報・連携を密にする事業は予算確保がされ、実行できるものと考えている	中島滄子	平成14年6月
尻別川統一条例制定について	流域各町村による尻別川連絡協議会総意のもとで条例を制定したい	中島滄子	平成14年6月
閉校した小学校の建物の管理について	町村有建物損害共済事業に加入し建物管理の安全確保に努めている	中島滄子	平成14年6月
千代田リゾートよりの預託金について	相手方の動向を見極めながら、弁護士と相談し解決に対処していきたい	中島滄子	平成14年6月
ペイオフ解禁について	金融機関ごとの債権・債務の状況を把握し、情勢を見極めながら対応していきたい	中島滄子	平成14年6月

地籍調査事業の完了について	地理情報システムを導入し、成果の利活用、行政サービスの向上を図っていききたい	柳谷要	平成14年9月
要望している新規事業の見通し	道々名駒田下線は粘り強く予算要望。相生蘭越線は、平成15年を目途に事業着手の予定	中島溢子	平成14年9月
市町村合併について	地区説明会・シンポジウムの開催、町民アンケートを実施し町民の意思を尊重して決定したい	中島溢子	平成14年9月
子供誕生のお知らせについて	本人の了解が得られるのであれば、「ふれあい通信施設運営委員会」で検討していきたい	中島溢子	平成14年9月
明年度の予算編成について	国の予算編成方針等の後に、限られた財源を有効的に重点配分するように努めたい	中島溢子	平成14年9月
パークゴルフ場の運営について	シーズン券の発行や割引制度等について内部で検討していきたい	熊谷雅幸	平成14年12月
蘭越町消防連合演習は、時代に合わせ合理化を	演習のあり方について、蘭越消防団、消防委員会等と協議していきたい	藤原秀雄	平成14年12月
米生産調整の今後について	現在関係機関が協議中であるが、「蘭越米」の生き残りのために最大限努力していく	中島溢子	平成14年12月
指定金融機関の職員の派遣について	現在のところ見直しの申し出はないが、あった段階で理解を求めていく	中島溢子	平成14年12月
北海道国際航空の出資について	再生計画案が提出された段階で内容を見極め、出資金の取扱い適切な対応をしていきたい	中島溢子	平成14年12月
森林整備地域活動支援交付金制度の推進	リーフレットや小冊子を利用し、再度説明会を開催したい	中島溢子	平成14年12月
内水面遊漁特区について	尻別川漁業協同組合や関係機関等幅広い意見を聞きながら慎重に検討していきたい	中島溢子	平成14年12月
平成15年度介護保険料(1号保険料)の見込み	現段階で算定した保険料は3,700円台になる見込みである	阿部正昭	平成15年3月
市町村合併について	国、道、管内の状況を見極めてアンケート調査を実施し、住民の意思を尊重しながら進めたい	阿部正昭	平成15年3月
ふるさと創生基金の活用について	ふるさと創生委員会で今後の活用について検討していただく	阿部正昭	平成15年3月
EM菌(有用微生物群)の活用について	活用の成果については賛否両論であるが、今後十分検討してみたい	熊谷雅幸	平成15年3月
蘭越町内のイントラネットについて	国・道それぞれ支援策を示しているが、具体的な内容については今後示される	熊谷雅幸	平成15年3月
財政改革は町民の痛みの少ないものから	行政改革推進の上での一つの課題として検討していきたい	藤原秀雄	平成15年3月
医療費の負担と高齢者のケアについて	特別料金を支払っての入院か、老人保健施設への入所という対応	中島溢子	平成15年3月
尻別川のこれからと活用について	観光パンフレットやホームページで全国的にPRしていきたい	中島溢子	平成15年3月
蘭越高校の学級定員引上げについて	国の標準法に基づき本年の学級定員になったもので、取扱いが変わったわけではない	中島溢子	平成15年3月
道新幹線と高速自動車道(余市・黒松内間)の整備	新規高速自動車の建設は大変厳しい状況にあるが、期成会を中心に関係機関へ要望	中島溢子	平成15年3月
本年の農家経済とその対応	水稻の粗生産額で約2億数千円の減収。米価格の引き上げ、生産資材等の価格引き下げを要望	中島溢子	平成15年3月
総合計画について	概ね計画に沿っていると考えている。第二期については計画と実態が乖離のないよう策定したい	中島溢子	平成15年3月
尻別川河口の整備について	関係機関へ要望書を提出しているが、引き続き積極的に要望していきたい	小川康之	平成15年6月
町村合併について	アンケート調査の結果、一定の意志が示されたので、七町村で議論できないか模索	新見健	平成15年6月
観光振興について	第4次総合計画に明示されている観光の取り組みについて具現化していきたい	新見健	平成15年6月
生涯学習センターについて	現時点では建設の見通しを立てることは難しいが、教育委員会、関係者と協議し努力	新見健	平成15年6月
行政・住民の役割について	相互理解の上に立って、協働のまちづくりを目指していく	新見健	平成15年6月
町村合併のアンケート調査の結果と取扱い	8割以上の回答があり、その意向に向けて最善を尽くしていきたい	中島溢子	平成15年6月
自然エネルギーの取り組みについて	投資額の回収、採算性、費用対効果等、総合的な判断が必要であり現在のところ困難である	中島溢子	平成15年6月
環境整備について	協働型地域社会の構築を図りながら、環境整備に努めるべきと考えている	中島溢子	平成15年6月
建設行政について	従来から行っており、平成14年度からは法に基づき、より具体的な事項について公表している	中島溢子	平成15年6月
自治自立について	一部地域グループ等に委託しているが、今度どのような分野の仕事をお任せできるか検討	中島溢子	平成15年6月
競争入札参加資格者の取扱い	地方自治法施行令の規定に基づき行っている	中島溢子	平成15年6月
遊休農地の取扱いについて	法案の詳細は現時点で通知がないが、状況の変化を見極め農業委員会と連携を図り対応	中島溢子	平成15年6月
国の予算内示と本町の関連について	北海道開発予算が内示されたが、市町村ごとの事業規模は示されていない	中島溢子	平成15年6月
市町村合併について	住民の声を最大限に尊重し進めていきたい	阿部正昭	平成15年9月
「ひぐま」の駆除対策について	オフトーク放送等で注意喚起するとともに環境省へ要請している	阿部正昭	平成15年9月
高度情報化通信網の今後について	必要性は十分認識しており、民間事業者との協力・共同による整備の可能性を検討	熊谷雅幸	平成15年9月
防災の連携と安全対策について	災害の未然防止と災害時の体制の充実強化の必要性から、関係機関と密接な連携を図り対応	熊谷雅幸	平成15年9月
町村合併について	早い時期に法定協議会設置について提案したい	新見健	平成15年9月
廃止されたゴミ焼却施設について	多額の解体費用がかかるため、補助制度の要請をししながら当面監視の強化に努めたい	新見健	平成15年9月
市町村合併について	憲法上の解釈や分権時代における町村の在り方からしても問題があると認識している	柳谷要	平成15年9月
乳幼児医療費助成給付事業の給付枠拡大	現下の財政状況の中では非常に厳しい状況にある	柳谷要	平成15年9月
「一般道々相生蘭越線」の道路改良	地域住民の総意を受け入れていただくように今後も要望していきたい	阿部正昭	平成16年3月
16年度の蘭越町予算について	サービス水準を下げることなく、できるものは民間委託の方向で進めたい	熊谷雅幸	平成16年3月
明年度に迎える町長選について	住民本位の町政推進に向けて次期町長選に望む	酒谷敏男	平成16年3月
市町村合併問題について	行財政運営の基軸をとちらかにするのは、現在の時点では困難	富樫順悦	平成16年3月
生ごみの堆肥化の早期有効な実現を	石油系製品への変更作業を進めており、堆肥は当面牧草地に還元していく	藤原秀雄	平成16年3月
幽霊泉の利用の町民サービスを	温泉事業運営委員会の意見を聞きながら住民サービスの検討をしていきたい	藤原秀雄	平成16年3月
町長の5選出馬について	希望のもてる明るいまちづくり政策の展開・推進を図っていききたい	柳谷要	平成16年3月
平成16年度財政運営などの基本方針	住民の立場に立った政策を基本に、重点的かつ効率的な財政運営をしていきたい	柳谷要	平成16年3月
市町村合併の推進について	新しい情報を提供し、住民投票あるいはアンケート調査について慎重に協議	阿部正昭	平成16年6月
道の駅の活用について	漬物等の特産品を中核に新鮮度の高い農産物の消費拡大に努めたい	熊谷雅幸	平成16年6月
中学校の「2学期制」について	研究協議・説明会等を積極的に進め、来年度以降の導入を検討していく	新見健	平成16年6月
「学校評議員制度」について	学校・家庭・地域の連携強化のために、当面蘭小、蘭中を導入したい	新見健	平成16年6月
本町農業の将来展望について	担い手の中核となる認定農業者の増加を目指し、支援していく	新見健	平成16年6月
中学校2学期制の導入について	保護者・生徒への理解を得られる制度となるよう導入に向けた検討を進めたい	藤原秀雄	平成16年6月

町基幹産業、米のブランド確立	難しいことだが、安全・安心の蘭越米で生き残りをかけていきたい	藤原秀雄	平成16年6月
小学校の極小規模化について	教育的な見地から好ましい形ではない。今後のあり方の議論をいただくための資料を作成し配布	堀正	平成16年6月
市町村合併について	各町村の住民の感情を大切に尊重し、合併後においても旧町村のまとまりに特に配慮すべき	柳谷要	平成16年6月
小学校の統廃合について	地域の意向を尊重し、総合的に判断して取り組んでいきたい	柳谷要	平成16年6月
新規就農者への農地等の支援対策は	国、道の制度を活用していただき、町としても限られた財源の中で十分検討していく	藤原秀雄	平成16年9月
休耕奨励金廃止後の水稻農家の新しい農業への誘導策は	農政は国・道の影響を受けざるを得ないが、的確な情報をキャッチし対応	藤原秀雄	平成16年9月
介護老人福祉施設の充実政策	早期に個室化が実現するよう要請し、実現に向けて支援していきたい	熊谷雅幸	平成16年12月
景観法と「景観条例」の位置づけ	重要な課題の一つとして、環境審議会からの答申内容等十分検討していきたい	熊谷雅幸	平成16年12月
「子育て支援」について	少子化対策としての施策を種々進めているが、今後も行政としてできる対応	柳谷要	平成16年12月
米に関する施策、対策について	家庭用消費米として、今後も率先してPRしていきたい	富樫順悦	平成17年3月
会計事務の簡略化について	専門知識が必要であり、全体の処理面から難しいのではない	藤原秀雄	平成17年3月
防災規定の見直しについて	北海道地域防災計画との整合性を保ちながら、防災会議で検討していきたい	柳谷要	平成17年3月
5期目を迎えた町長の政治姿勢の基本	地方自治の本旨を踏まえて、住民福祉の充実・向上を図ることが使命と考えている	柳谷要	平成17年3月
今後の町政懇談会のあり方	町全体や各地域の諸課題と一緒に検討する懇談会にしていきたい	柳谷要	平成17年3月
蘭越高校の実体が知りたい	中学卒業生の推移から将来的に2間口維持は厳しい状況にある	阿部正昭	平成17年6月
町政執行方針について	行財政再構築プランに基づき、民間移譲等について今後検討していきたい	阿部正昭	平成17年6月
町民歌について	町民や関係機関・団体のご意見やご協力をいただき検討していきたい	阿部正昭	平成17年6月
町の歴史資料の保存について	民間団体から町へ寄託を受ける方法で処理する等、今後検討していきたい	阿部正昭	平成17年6月
蘭越町の存在に係わる農業政策	全生産者レベルの組織は難しい問題が多いが、最善の方法を検討していきたい	五十嵐年和	平成17年6月
産業研修生受入について	総合計画後期基本計画の見直し内容も踏まえ、研修生受入れも視野に入れ今後検討	熊谷雅幸	平成17年6月
町の人口増対策について	道の「北の大地への移住促進事業」を参考にしながら検討していきたい	熊谷雅幸	平成17年6月
集落営農の組織化、法人化について	現在国で協議中であるが、本町産業の農業・農村維持のために政府や政党に強く提言	富樫順悦	平成17年6月
「行財政再構築プラン」について	重点的な4項目について果敢に取り組んでいきたい	新見健	平成17年6月
「都市と農山村の共生と対流」	都市と農山村の役割のピーアールや植栽・花壇造成等により美しい農村環境づくりに努めたい	新見健	平成17年6月
町職員の共働きについて	法律上は大変難しいが、職員本人の自覚を一層喚起し対応に努めたい	藤原秀雄	平成17年6月
「連合自治体」構想について	事務所の共同処理により高度化が図られる等、合併に代わる一つの手段として評価できる	柳谷要	平成17年6月
環境基本条例を実効あるものに	補助事業制度の積極的な活用と、住民への情報提供などを通じ、普及啓発活動や事業を推進	柳谷要	平成17年6月
「栄養教諭」制度について	給食センター栄養士を対象とし、当面栄養士のまま蘭越小学校に配属となる	柳谷要	平成17年6月
住宅料未納者に対する対策	低い家賃への転居等を含め、今後滞納者と相談・協議し検討していきたい	藤原秀雄	平成17年9月
「指定管理者制度」について	町内公共施設の管理運営についての指定管理者制度導入は、今年度中に進めていきたい	柳谷要	平成17年9月
町道の維持管理について	協働のまちづくりの趣旨を理解していただくと共に、住民生活に影響の出ないように最善を尽くす	柳谷要	平成17年9月
地域交通システムであるデマンド交通システム導入の可能性は	町民の交通手段の確保としては有効な対策の一つであるが、費用対効果を考えて困難	熊谷雅幸	平成17年12月
パートナー市町村制度への登録が有効と考えるが	選定基準としての条件が整っていないため、困難である	熊谷雅幸	平成17年12月
発ガン性物質アスベストの使用調査結果と処理対策は	使用が懸念される施設が6ヶ所あるが、含有の有無の検査、粉じん濃度調査を実施	酒谷敏男	平成17年12月
地震・津波等の対策のあり方を見直しする必要があると思うが	「地域防災計画」、「水防計画」の全面改正を進めている	酒谷敏男	平成17年12月
アスベストについての調査を行ったのか、又、その結果と対策は	各施設を調査し、使用が確認された施設については専門機関に検査を委託する	新見健	平成17年12月
生ゴミの集荷はポリバケツでできないか	バケツ収集の検討もしたが、経費、衛生面から現在のゴミ袋で実施している	藤原秀雄	平成17年12月
70歳到達記念写真は従来の大きさにすべきと思うが	対象者がどう思うかを意向調査等を行い検討したい	藤原秀雄	平成17年12月
身体障害者が、高齢者コミュニティセンターも利用できないか	福祉団体合同町政懇談会でも同様の意見があったので十分検討したい	阿部正昭	平成18年3月
委員会・審議会等で目的を達成したもの等は見直しを図っては	毎年統廃合を含めた見直しを行っているが、今後も検討していきたい	阿部正昭	平成18年3月
地方自治法第92条の2及び関連する1第127条の町長の見解は	仮に抵触、該当したとしても請負解約の締結の効力には影響を受けないものと考えている	富樫順悦	平成18年3月
町の自主財源確保のため、風力発電施設の設置等を検討しては	多くの課題があるが、地域新エネルギービジョン策定委員会の報告内容を踏まえ検討	藤原秀雄	平成18年3月
冬期間の火災対策のためにも水槽車の導入が必要では	一層の防火体制の強化を図るよう消防組合、関係機関と協議・検討していきたい	阿部正昭	平成18年6月
自然エネルギーとしての「雪」を有効活用できないか	策定委員会の報告をふまえ、内部で十分検討していきたい	熊谷雅幸	平成18年6月
町の衰退に関わる人口減の歯止め対策は	各種の少子化対策事業の推進に努め、可能なものから充実するよう努力していきたい	藤原秀雄	平成18年6月
障害者自立支援法の実施にあたって	自立した日常生活を営むことができるよう支援を行うことが目的。詳しいことは示されていない	柳谷要	平成18年6月
防犯組織による巡回ができないか	自主的組織が広がっていくよう、防犯意識の高まりを喚起していきたい	熊谷雅幸	平成18年9月
幽泉閣の温泉水を飲用に普及させては	俱知安保健所とも協議しながら、内部で十分検討したい	藤原秀雄	平成18年9月
当直人員を増やし救急出動態勢の充実を図っては	消防組合本部等と十分協議し、隔日勤務体制の導入について執り進めたい	藤原秀雄	平成18年9月
道営競馬を利用した町のピーアールができないか	新たなピーアール方法として導入が可能かどうか検討していきたい	堀正	平成18年9月
点在する未整備の水田を一つの補助事業で計画できないか	町一円を一つの区域とするのは広範囲となり、計画は難しい	堀正	平成18年9月
必要な人員を確保し、町道の維持管理を	限られた財源・人員の中で、生活に影響が生じないよう最善を尽くしたい	柳谷要	平成18年12月
今年も福祉灯油の実施を	町の財政事情を勘案しながら、前向きに検討したい	柳谷要	平成18年12月
町が行っている維持事業や、行政サービスを移管できないか	民間の優れた能力を発揮できる事業は、委託等を含めて検討を進めていきたい	熊谷雅幸	平成19年3月
住民からの提案や申請により、年初から予算枠確保ができないか	蘭越町まちおこし事業補助金交付条例を制定。住民の積極的な提案により必要に応じて予算措置	熊谷雅幸	平成19年3月
本町の小・中学校にいじめはないのか	調査の結果、いじめの事実報告があったが、現在は解決、沈静化している	酒谷敏男	平成19年3月
後志広域連合について	合併問題も踏まえ、現在は広域連合という一つの手法で住民の幸せづくりのために推進	富樫順悦	平成19年3月
本町のいじめの実態、対策はどのようになっているのか	学校・家庭・地域・教育委員会が連携し、安全・安心な学校づくりに取り組みたい	富樫順悦	平成19年3月
選挙の投票は時間延長なしで	次の統一地方選挙から投票時間を午後6時までとするよう進めていきたい	藤原秀雄	平成19年3月

後期高齢者医療制度の導入にあたって	支援金は決して世代間の分断を図るものではないと考える	柳谷要	平成19年3月
国の税負担増加による町民負担軽減策	現在の交付税制度や本町の財政状況では大変難しい	柳谷要	平成19年3月
尻別川河口の整備を	今後も引き続き関係機関に要望していきたい	酒谷敏男	平成19年6月
過疎化の歯止め対策は	非常に難しい問題であるが、関係機関・団体、町民の意見をいただき対策を検討	酒谷敏男	平成19年6月
職員の人材育成の向上について	研修をとおしての教育や資質・能力の向上を図り、人材育成に努めていきたい	新見健	平成19年6月
湯本地区のさらなる観光開発と集客増のために	貴重なご提案、お客様からのアンケート等を参考にしながら施設運営に努力	藤原秀雄	平成19年6月
学校給食センターの地場産品の活用は	安全で安心な地場産品の米や野菜類の活用に努めたい	藤原秀雄	平成19年6月
給食費の滞納について	電話・文書による催告、個別訪問による徴収対策を粘り強く努めていきたい	藤原秀雄	平成19年6月
生ごみ等堆肥化の処理のその後について	法律に基づいて適正に処理し、環境美化にも努めたい	藤原秀雄	平成19年6月
タウンマネージメント(TMO)構想事業を具体的に	街の賑わい、花盛り街並み、地産地消システムづくり事業を総合的・一体的に推進	藤原秀雄	平成19年6月
尻別川下流域の水田の「塩害」対策	原因究明と防止策の検討を進めていきたい	柳谷要	平成19年6月
水道の基本料金と基本水量の設定変更	使用水量の調査を行い総合的に検討したい	柳谷要	平成19年6月
診療所入口の凍結防止について	効果的な安全策を考えたい	柳谷要	平成19年6月
子供医療費(乳幼児)の支援について	今後の町財政の動向を見極めながら検討していきたい	柳谷要	平成19年9月
小学校の統合について	PTAや地域の意見や意向を十分に踏まえ進めていきたい	柳谷要	平成19年9月
観光立国推進基本法の活用について	町村単独ではなく広域による取組が必要各町村、関係団体と協議しながら進めていきたい	中島溢子	平成19年9月
「頑張る地方応援プログラム」の活用	本町独自のプロジェクトを策定し、5つの事業を計画し申請	中島溢子	平成19年9月
競争入札制度導入に伴う参加資格要件と執行後の評価は	条件付一般競争入札施行要綱を策定今後、多様な入札手法を検討していきたい	五十嵐年和	平成19年12月
U-Japanについて	整備・維持管理に膨大な費用がかかるため、当面は民間事業者を活用し整備を図りたい	熊谷雅幸	平成19年12月
町道等の維持管理についての一考	住民の生活に影響を及ぼさないよう最善を尽くしたい	熊谷雅幸	平成19年12月
農業用廃プラスチック回収について、再度、町の助成措置を	廃プラの焼却、不法投棄に懸念町財政も厳しいが前向きに検討したい	福村正見	平成19年12月
イエスクリーン米に係わる温湯消毒機の導入の助成	本町の稲作の将来の取組に向け、データ集積を行い、助成措置を検討	福村正見	平成19年12月
自治体の病院の再編について	地域医療の低下につながらないよう、関係町村と連携を図っていきたい	中島溢子	平成19年12月
小・中学生の不登校について	学校、家庭と連携を取って取り組んでいかなければならない	中島溢子	平成19年12月
公立校舎の耐震調査について耐震診断や改修工事の取組を	昭和56年以前に建てられた施設については、できるだけ早く対応をしたい	中島溢子	平成19年12月
身体の不自由な方とその家族の入浴	現在の施設でできるだけ利用しやすいよう改善に取り組んでいきたい	中島溢子	平成19年12月
農地法の改正について	農業者にとって良い方向に進むよう、動向を見据え対応したい	中島溢子	平成19年12月
建設業者の育成にかかる入札方式	行政指導できる領域には限界がある今後、十分検討していきたい	福村正見	平成20年3月
後志広域連合と町長の責務について	次期がきたら決断を今は人気満ちまで町民の幸せづくりのため、職務に最善を尽くしたい	堀正	平成20年3月
新年度の農業施策について	現状の農業情勢を憂慮し、対応できることから早急に取り組んでいきたい	堀正	平成20年3月
後期高齢者医療制度について	高齢者が不安を抱くことや医療の抑制となる事態が起きないよう最善を尽くしたい	柳谷要	平成20年3月
確定申告の納税相談について	公平公正な課税に努め、住民の目線で親切丁寧な対応を心掛ける	柳谷要	平成20年3月
国保短期保険証の発行について	短期保険証の発行は実施しない予定	中島溢子	平成20年3月
学力調査の結果について	調査結果を分析し、指導の改善・充実に努めたい	中島溢子	平成20年3月
消防行政について	安全・安心のまちづくりを推進する大切な業務関係機関と十分協議・検討	中島溢子	平成20年3月
介護施設運営についての町の考え方	施設の重要性は深く認識している今後、町の立場で情報交換や助言指導をしていきたい	熊谷雅幸	平成20年6月
財政運営と将来について	町政推進に向け秋の町長選へ出馬固める粉骨砕身・誠心誠意・最善を尽くしたい	熊谷雅幸	平成20年6月
米の販売、所得対策について	道産米の横綱を目指し良食味米の生産・PRを推進所得対策は自らの知恵と工夫が何より大切	富樫順悦	平成20年6月
地方財政健全化法について	平成19年度決算見込みの数値は財政健全化法の対象外で、今後も健全化財政の維持に努める	富樫順悦	平成20年6月
今秋の町長選挙について	住んでいることが誇りに思うまちづくり・住民参加の自治の充実に向け全力を注ぐことを決意	柳谷要	平成20年6月
豊浦町新富の吹雪による死亡事故	道路の安全・安心は交通確保と維持管理体制の充実に努めたい	柳谷要	平成20年6月
財務規制の入札及びせりに関する資格	単に排除を明記するには基準根拠が不透明。今後、市町村の動向を勘案し必要に応じ検討	柳谷要	平成20年6月
「富士観光ホテル」廃屋の処理について	買受者による建物を含めた周辺整備に期待。基金創設は有効だが、他町村の動向を踏まえ検討	柳谷要	平成20年6月
教職員のストライキ問題について	スト参加者の報告と内申の決定処分は教職員の任命権者である北海道教育委員会が行う	中島溢子	平成20年6月
御成、三和小学校統廃合について	地域では存続を希望。PTA・地域の意思を尊重するとともに、今後の存続の在り方について検討	中島溢子	平成20年6月
米の転作の配分について	見直しが必要な時は協議すべき問題。安全・安心な良食味米の生産が転作率の緩和にも	中島溢子	平成20年6月
蘭越中学校の耐震診断の結果	調査中で結果が明らかになっていない調査結果に基づき、耐震補強工事の設計を実施する	中島溢子	平成20年6月
基本理念について	「住民主権」「住民参加」「住民本位」を基本理念とし、職員との連携を図り、町政の推進に努めたい	中島溢子	平成20年6月
公営住宅ストック計画について	他の事業や財政面を勘案し、バランスを取りながら住民ニーズに合った計画を推進	熊谷雅幸	平成20年9月
補助金施設の転用について	積極的に導入し、施設の有効活用や跡地利用について検討	中島溢子	平成20年9月
農地・水・環境保全向上対策について	地域の特性を生かした地域づくりに結びつくことに期待	中島溢子	平成20年9月
一級河川(尻別川)の北海道への移管	国の管理と同じ水準が保たれるよう、住民の生活、産業経済活動に影響が出ないように努めたい	中島溢子	平成20年9月
エキノコックス駆除について	必要性は十分に認識予算措置し来年度から実施	熊谷雅幸	平成20年12月
原油・原料の高騰による対策	町民生活・地域経済への影響を最小限にするため支援対策事業を検討し、早期に実施	中島溢子	平成20年12月
道道の整備について	早期の事業推進に向け、今後も道へ要望をしていく	中島溢子	平成20年12月
塩害について	関係者・関係機関と協議・検討し、最善の対応をしていきたい	中島溢子	平成20年12月
「仮称」森林環境税について	4月からの導入は難しい状況道も経済情勢を慎重に見極めて対応してもらいたい	富樫順悦	平成21年3月
道州制について	地域住民の幸せにつながるよう国からの権限移譲が地域重視の視点でされるよう望む	柳谷要	平成21年3月
後志広域連合について	新しい自治のあり方として今後も協力に推進したい	柳谷要	平成21年3月

北海道消防広域化推進計画	広域化により消防力が低下しないよう十分な協議・検討が必要	柳谷要	平成21年3月
町民の平均所得について	平成19年は1人当たり約178万円	中島溢子	平成21年3月
火災時のオフトーク放送について	消火活動への支障、また2次災害が起きないように考慮プライバシー保護からも放送は控える	中島溢子	平成21年3月
新年度の町政執行方針について	住民参加・住民主権・住民本位を基本理念。期待・希望の持てる予算編成に努めたい	中島溢子	平成21年3月
ふるさと創生基金について	今後の活用方法等は、ふるさと創生委員会等で協議し進める	中島溢子	平成21年3月
蘭越町の基幹産業の現状と将来	見直しは関係機関で議論。農作物に付加価値を付け、所得の増大や地域の活性化実現に期待	五十嵐年和	平成21年6月
高速ブロードバンドについて	民間事業者等の活用を視野に入れ、町としてできることを検討していく	熊谷雅幸	平成21年6月
農業支援について	農業を取り巻く環境は大変厳しい状況町としてできる限り支援をしていく	熊谷雅幸	平成21年6月
経済不況対策について	町民の皆さんが心の不況に陥らないよう夢と希望が持てる予算編成に努めた	富樫順悦	平成21年6月
蘭越小学校の駐車場について	旧蘭越保育所周辺整備により駐車スペースを確保したい	福村正見	平成21年6月
農業振興について	農業普及指導員を配置し、農業技術や農業経営指導体制の強化を図る	柳谷要	平成21年6月
地域支援員制度の創設について	町として、地域にどのような支援ができるのか、将来に向け十分に検討したい	柳谷要	平成21年6月
心の病について	健康管理委員会を中心に国・道の状況も勘案し、職員の健康管理に努める	中島溢子	平成21年6月
格差問題について	町民の幸せづくりと町発展のため、町政を預かる責任者としての決意としての発言	中島溢子	平成21年6月
平成27年度に向けた南後志地域廃棄物広域化計画	ごみ処理問題は、住民生活に直結していることから、関係町村と協議したい	中島溢子	平成21年6月
本町の行財政改革について	町の経済や地域が衰退しないよう調査を見極め行財政改革を推進していく	中島溢子	平成21年6月
蘭越町行財政再構築プランについて	社会経済・財政状況を見極め、実効性を高め、的確な事業推進に努めている	中島溢子	平成21年6月
蘭越町公営住宅ストック総合活用計画	計画に基づき、住宅需給のバランスをとり対策を推進したい	中島溢子	平成21年6月
産業の振興について	「らんこし米」が高い評価を受けることが重要。商工業は地域区別なく、行政の守備範囲で支援	中島溢子	平成21年6月
支庁制度改革の再編について	非常に大きな問題どのように進展するのか現段階では不明	中島溢子	平成21年6月
倶知安厚生病院の運営について	倶知安厚生病院の果たす役割について厚生連と協議が必要	中島溢子	平成21年9月
町道名駒市街三和線の整備について	総合的な判断が必要、十分に検討したい	中島溢子	平成21年9月
育苗施設の増設について	施設能力を増強、平成23年度の播種からの稼働を目指したい	中島溢子	平成21年9月
省エネの導入やエコ改修についての考え方	国の施策も視野に入れ、町の財政的負担を勘案しながら検討していきたい	熊谷雅幸	平成21年12月
水稻の新品種「ゆめびりか」について	生産者・消費者には関心が高い品種のため諸問題を解決するよう努力したい	富樫順悦	平成21年12月
実験農場の運営について	農家経済への影響を及ぼさないよう慎重に判断したい	富樫順悦	平成21年12月
高額医療・高額介護合算療養費制度	広報誌、ポスターで制度の周知を図る担当係での窓口対応も行っている	中島溢子	平成21年12月
パークゴルフ場入口の整備について	維持管理も含め地域住民の前向きな考えが大事である	中島溢子	平成21年12月
尻別川の水質について	調査結果は調査日の天候にも左右される引き続き良質な水質保全に努力していく	中島溢子	平成21年12月
蘭越高校の今後について	地域・高校・行政が一体となって存続に向け努力。中・高一貫は基本条件が整わなければ難しい	中島溢子	平成21年12月
ブナ北限の町宣言について	ブナは小規模で自生しているが近隣町村の特色を認め合い地域発展につなげたい	中島溢子	平成21年12月
これからの福祉対策と地域再生に	小規模な多機能を有した施設での高齢者対策を推進し、さらに就業対策をリンクさせ検討	熊谷雅幸	平成22年3月
新政権下における町政の推進について	前政権、新政権を問わず、住民主権、住民参加、住民本位の基本理念を全身全霊で傾け邁進	富樫順悦	平成22年3月
資源ごみの収集について	現下の財政事情では受益者負担のバランスを勘案し検討していきたい	福村正見	平成22年3月
小中学校の学力テストについて	学習指導の改善、子ども達の学力向上を目指し、適切な対応をしていきたい	中島溢子	平成22年3月
高齢者のいこいの場の設置について	現愛ある施設を気兼ねなく活用していただきたい	中島溢子	平成22年3月
国道5号線蘭越市街区域の大幅な路線の変更	街の茶屋付近の道路改良を要望し、平成23年度に完成予定。政権交代により現段階では不透明	中島溢子	平成22年3月
本年度の農家の冷害対策について	新政権になり地方財政対策が不透明の中、新たな方策は難しい	中島溢子	平成22年3月
高規格救急車の運行について	現在の救急車の機材の整備、また救急救命士の養成や資格保有者の採用を検討したい	五十嵐年和	平成22年6月
蘭越ハイヤーの廃業と福祉タクシー	対策に苦慮しているが、十分検討し最善の方法をとりたい	五十嵐年和	平成22年6月
人口減少対策について	相互王的な定住・移住対策に挑戦し、人口減少に歯止めとなる対策を進めたい	熊谷雅幸	平成22年6月
農業の総合的支援制度について	農業者にとって有効な事業を推進することにより、地域の経済効果に寄与できるのでと考える	熊谷雅幸	平成22年6月
自然豊かな森づくりについて	森林保護に向け、町単独事業実施を前向きに検討していきたい	富樫順悦	平成22年6月
子宮頸ガンワクチンの町費接種助成	町費助成には時間をかけ検討する必要がある内部検討し、慎重に対応していきたい	柳谷要	平成22年6月
各種検診の受診率向上のために	自分の健康は自分で守る意識が重要と同時に保険推進員の協力を得て受診向上に努めたい	柳谷要	平成22年6月
あけぼの団地を住み良く改良するために	計画の対象になるか国・道と検討。対象外でも町独自で改善するよう取組みたい	柳谷要	平成22年6月
「厚生住宅等長寿命化計画」について	本町では、公営住宅・特定公共賃貸住宅を対象に計画を定め、住宅環境の整備に努める	柳谷要	平成22年6月
女性特有のガン検診について	町では通年受診できるよう対策を講じている自らが健康管理に関心を持つことが重要	中島溢子	平成22年6月
水稻収量について	国が行う収量調査と町で行う作況調査の実施方法が異なるため、相違を生じる	中島溢子	平成22年6月
町政の執行方針について	時代のニーズにあった改革は、住民・議会・行政が協働して推進していかなければならない	中島溢子	平成22年6月
整備新幹線の未着工区間(函館・札幌区間について)	詳細が明らかでない状況。関係機関との協議、情報収集を行い取り進めたい	中島溢子	平成22年9月
女性グループによる農作物の加工施設	各団体の意向を踏まえ、早急に実現したい	中島溢子	平成22年9月
農家の個別所得補償制度	国の財政状況等、課題も多いことから今後の動向も踏まえ適切に対応したい	中島溢子	平成22年9月
町の温泉資源と水源地について	大切な観光資源、周辺施設も町での運営を考えている。水資源は、適正な維持管理に努めたい	熊谷雅幸	平成22年12月
公共工事に係る最低制限価格導入についての考え方	入札方法の検討を行い、良質な公共工事等の確保に努めたい	熊谷雅幸	平成22年12月
北海道新幹線の札幌延伸に伴う並行在来線の経営分離問題は	交通弱者の足を確保するため、あらゆる視点での議論が大切だと考える	柳谷要	平成22年12月
子宮頸ガンワクチンの公費助成	ワクチン接種の必要性等正しく理解していただくよう啓蒙活動を行い、状況を見極めながら実施	中島溢子	平成22年12月
橋梁の長寿命化修繕計画について	橋梁修繕計画を策定し、年次的に修繕を実施していきたい	中島溢子	平成22年12月
港基地線の雨水対策について	簡易な改修と巡視等を行い、今後の対応を検討したい	中島溢子	平成22年12月

休廃校舎となった公立学校の活用	地域住民の意向を大切に、有効に活用したい	中島滄子	平成22年12月
蘭越町地域新エネルギービジョンの導入計画	本町の特性を生かした検討をしていきたい	熊谷雅幸	平成23年3月
米所得補償モデル事業と'11年度生産数量目標	変動部分の交付金、生産数量の減など関係機関を通じ、適正な交付、配分を強く求めたい	富樫順悦	平成23年3月
エゾシカ対策について	適正保護管理にも配慮し、対策と検討をしなければならない	福村正見	平成23年3月
エゾシカの被害から農作物を守るために	鳥獣被害防止対策協議会を設置エゾシカ対策に取り組みたい	柳谷要	平成23年3月
倶知安厚生病院の運営	診療機能見直しは住民の生命にかかわる大きな問題他町村とも協議し慎重に対応したい	中島滄子	平成23年3月
高齢者福祉対策について	グループホーム建設を積極的に進めたい	中島滄子	平成23年3月
明年度の重点事項について	第5次総合計画の着実な推進と限られた財源で最善の努力をしていく	中島滄子	平成23年3月
港地区高齢者センターの活用	地区と協議し、検討していきたい	中島滄子	平成23年6月
全国学力・学習状況調査について	全校で調査を実施町の費用負担はない	中島滄子	平成23年6月
執行方針の文言と国旗について	言葉で強制しても真の愛国心は育たないのではないか	五十嵐年和	平成23年6月
力強い厚みのある産業の振興	国・関係機関と連携し支援をしていきたい	五十嵐年和	平成23年6月
住宅エコ化改修支援	エコ化推進はもとより建設産業等の振興と雇用安定に寄与	熊谷雅幸	平成23年6月
環境問題 学芸員採用と今後の対応	専門的知識を活かし、環境・教育・観光等、各種事業の取組みに期待	熊谷雅幸	平成23年6月
子宮頸がんワクチンの接種事業	対象者に全額助成啓発チラシや講演会の実施で啓蒙活動を展開	柳谷要	平成23年6月
「環境負荷の少ない地域づくり」	事業実施状況の検証と財政状況を勘案し、制度化は検討	柳谷要	平成23年6月
チセヌプリスキー場への観光客増の施策	身の丈に合った運営でも利用客が満足できるよう努めたい	琵琶博之	平成23年9月
蘭越町への移住者増の施策について	移住者と古くからの住民とが協力し合い活力あるまちづくりを進めたい	琵琶博之	平成23年9月
より効果的な運営の敬老会開催について	地域にあった敬老会があっても良いのではないか	中島滄子	平成23年9月
町議会議員選挙を通じた町民の行政に対する意識の変化	町議会議員としても民意を吸収し、町政に活かしてほしい	中島信幸	平成23年9月
港地区の津波災害防止について	地元住民の意向と近隣町村との連携も視野に入れ進めたい	柳谷要	平成23年9月
東北大震災の救援要綱策定	未曾有の災害のため、できうる支援をしていきたい	柳谷要	平成23年9月
尻別川堤防の草刈り作業について	水田への影響や美観を損なうことのないよう関係機関へ要請を続ける	柳谷要	平成23年9月
公営住宅の連帯保証人規定の緩和による人口増加の施策	これまで同様、事情に応じた対応をしていきたい	琵琶博之	平成23年12月
フィッシュ・アンド・名駒付近の看板の環境整備	地域と協議しながら進めていきたい	中島滄子	平成23年12月
小中学校におけるフット物洗口	保護者、関係者の理解と近隣町村の動向を見極め慎重に検討したい	中島滄子	平成23年12月
地域農業継承者の育成強化策	町が出来ることは限界があるが、農業の振興発展のため支援したい	熊谷雅幸	平成23年12月
道道磯谷蘭越線の改良について	事業主体は北海道なので、今後も引き続き要望したい	中島信幸	平成23年12月
ホームコンビニツルヤの出店	商工会と連携を密にし、出店に関する情報を把握したい	中島信幸	平成23年12月
蘭越町の町民の所得の格差	資産の多寡が考慮されないなど、数値上で結論は出せないと考え	中島信幸	平成23年12月
御成小学校閉校について	地域の協力を得ながら、出来る限りの支援をしていきたい	柳谷要	平成23年12月
町長の際費は廃止すべきではないか	行政を円滑に推進するための必要経費である	中島信幸	平成24年3月
北海道新完成並行在来線について	北海道新幹線は道民の悲願札幌延伸に向け努力したい	中島信幸	平成24年3月
農地整備について	道営事業を活用し、積極的に推進したい	中島信幸	平成24年3月
東日本大震災のがれきの受入	町民の安全・安心を最優先に考えた場合、受け入れは困難である	中島滄子	平成24年3月
橋の長寿化対策について	財政状況を勘案しながら、早期修繕に努めたい	中島滄子	平成24年3月
高齢者の福祉のため幽霊間を低価格で利用できるように	観光事業も厳しい状況であるため、低価格での利用は困難である	中島滄子	平成24年3月
原発防災対策について	安全対策について、国・道に強化を求めている	富樫順悦	平成24年3月
情報公開の推進施策(予算概要書)について	現在の予算概要書で町民は理解いただいている	琵琶博之	平成24年3月
町HPの町長メッセージ欄を活用した情報発信の強化	町民と直接ひざを交え、血の通った行政の推進に努めたい	琵琶博之	平成24年3月
町道の除雪について	除雪体制を見直しながら、安全に交通できるよう努めたい	赤石勝子	平成24年3月
蘭越高校存続を求める運動強化を	関係機関と連携し、今後も支援していきたい	赤石勝子	平成24年3月
新幹線札幌延伸と在来線存続	課題解決へ向け建設的な話し合いで結論を導きたい	柳谷要	平成24年3月
昆布大谷幼稚園の閉園について	閉園後は、町としてできることを前向きに検討したい	柳谷要	平成24年3月
町の活性化施策(地域おこし協力隊)	本町における必要性等を検討しながら進めていきたい	琵琶博之	平成24年5月
孤独死に対する町民の安心安全のくらし	痛ましい事故が起きないようにより一層の工夫した取り組みを推進	中島滄子	平成24年5月
蘭越町の斎場のトイレ	利用目的、利用頻度を考え、現状のまま対応したい	中島滄子	平成24年5月
本町の首長選	現時点では、山積する課題の解決に向け、全力で取り組む	中島信幸	平成24年5月
今秋の町長選挙	出処進退は時期が来たら自分で決断。それが住民に対する責務でありけじめ	柳谷要	平成24年5月
JR在来線の充実と住民の足確保のため	住民の足確保は経営分離に関係なくしっかりと対応したい	柳谷要	平成24年5月
原子力防災指針の策定と避難訓練と北電との安全協定締結	国の防災指針を示さないまま、自身体に策定要請され困惑。安全協定締結は必要	柳谷要	平成24年5月
季節労働者対策	社会情勢や敬愛状況等を勘案し、雇用創出に努めたい	中島信幸	平成24年5月
平成24年産米の市町村別の配分	農業者に周知し、配分作業を進めている	中島信幸	平成24年5月
蘭越町生活交通バス「らんらん号」(患者輸送バス含む)	多くの町民が利用できるよう、巡回路線、停車場等を見直し	中島滄子	平成24年5月
蘭越町訪問介護員養成事業	福祉の知識を深めるとともに、就職に役立ててもらいたい	中島滄子	平成24年5月
高齢者虐待防止ネットワーク委員会の活動	関係機関等と連携を図り、高齢者虐待の早期発見、未然防止のため設置	中島滄子	平成24年5月
新エネルギー化・省エネルギー化の促進	新しい支援策は、国の制度を見極めながら検討していきたい	熊谷雅幸	平成24年5月
観光協会等からフェイスブックを使った情報発信ができないか	町民の一人ひとりが広報マンとなり、町のPRをしていただきたい	熊谷雅幸	平成24年5月
学校評価の取り組み	地域や学校の実情を踏まえ取り組みを実施	五十嵐年和	平成24年5月

イエスクリーン米生産拡大支援事業の助成	イエスクリーン米等の定着に向け、当面の間、助成を継続	福村正見	平成24年5月
定住対策の推進	定住対策は、様々な課題の抽出と実効性の検証が必要。しっかりとした取り組みを推進	琵琶博之	平成24年5月
独身寮の今後の利用について	今後どのようにするか財源の問題も含めて検討したい	中島溢子	平成24年8月
幽泉閣の高齢者温泉利用軽減での本人確認方法	利用される方が安心して入浴していただけるよう努めます	中島溢子	平成24年8月
花一会図書館の利用向上	費用や必要性などを勘案しながら将来的な課題として検討したい	琵琶博之	平成24年8月
町民アンケートによる意向を反映したまちづくり	引き続き町民の意向を反映したい	琵琶博之	平成24年8月
フェイスブック等を活用したまちの活性化政策	フェイスブックの導入は将来的に検討したい	琵琶博之	平成24年8月
町長選挙の出入進退について	町民の皆さんのために身を粉にして頑張りたい	琵琶博之	平成24年8月
災害支援員の配置について	日常生活における支援と災害発生時の要援護対策として	柳谷要	平成24年8月
今年の秋の町長選挙について	皆さんの深いご理解とご支援のもと七たび秋の町長選に出馬したい	福村正見	平成24年8月
公職選挙法について	寄付行為は禁止、連座制は大幅に強化	中島信幸	平成24年8月
報道による経費の二重取りについて	助成額の返還も視野に入れ、他町村の動向に注視して対応したい	中島信幸	平成24年11月
フィッシュ・アンド・名駒付近の環境整備	十分に検討して改修できるように進めたい	中島信幸	平成24年11月
地方交付税の延期について	既に交付され、影響はない	中島信幸	平成24年11月
幽泉閣の食事メニューについて	喜ばれるメニューの提供に努めていきたい	中島溢子	平成24年11月
パークゴルフ場の効率的な運用	利用が減少するようであれば、見直しも検討したい	中島溢子	平成24年11月
空き家・空き店舗の今後の活用方法	ネットワーク組織による情報化等を推進する	熊谷雅幸	平成24年11月
全国初「フェイスブック祭り」の開催	ユーザの皆さんが中心となり展開されれば、町としてできることを支援したい	琵琶博之	平成24年11月
企業誘致の取組みについて	コストの低い海外立地が進み、国内的には進んでいない状況	琵琶博之	平成24年11月
北海道水資源の保全に関する条例	蘭越町の保全は、本町の水源地周辺の指定を考えている	富樫順悦	平成24年11月
生活交通「らんらん号」について	利用者の推移を見極め検討したい	赤石勝子	平成24年11月
尻別川支流の築堤の草刈り	適正な維持管理を要請したい	柳谷要	平成24年11月
ドクターヘリの冬期対応について	ヘリポート以外の空き地にも発着が可能である	柳谷要	平成24年11月
泊原発周辺の安全確認等に関する協定(案)	協定案は評価するが、内容修正を求めている	柳谷要	平成24年11月
「カーボンオフセット」事業について	調査研究し、可能であれば取り組みたい	富樫順悦	平成25年2月
町出身者の力を利用したまちづくり	具体的な内容を確認し、検討したい	琵琶博之	平成25年2月
らんこし米のキャンペーンについて	知名度、評価は確実に上がっている	中島溢子	平成25年2月
農産物加工試作・研究施設の充実と有効利用	利用者の意見を伺い対応している	中島溢子	平成25年2月
港地区に避難道を	住民の安全安心に十分配慮する	赤石勝子	平成25年2月
七期目を迎えた町長の基本姿勢について	住民が主人公のまちづくりがモットーである	柳谷要	平成25年2月
道営土地改良事業について	作付けに支障がないように対応してほしいと伝えている	柳谷要	平成25年2月
チセヌプリスキー場休止の見解	スキー場は当面休止し、民間活力の導入も視野に入れ検討したい	琵琶博之	平成25年5月
ふるさと納税制度による町活性化	制度の趣旨に照らして考えたい	琵琶博之	平成25年5月
農地集積について	農地集積に対する施策を支援したい	中島信幸	平成25年5月
訪問介護員要請事業の成果が表れていない	職業の選択肢を広げることや、安心した生活を送っていただくことが最大の支援	中島溢子	平成25年5月
農業後継者への町独自の支援を	農業振興プロジェクト会議で意見を伺い、検討したい	五十嵐年和	平成25年5月
地場産業振興加工センターの商品構成	今後も検討しながら、蘭越らしさを出していきたい	熊谷雅幸	平成25年5月
財政健全化の恒常的経費削減	節電を含む省エネルギーを継続的に推進していく	熊谷雅幸	平成25年5月
農業水利施設を利用した小水力発電の可能性	可能性について調査を進めたい	柳谷要	平成25年5月
花一会図書館の今後について	公立図書館は将来の目標として進めていきたい	柳谷要	平成25年5月
蘭越を売り込むために他の市町村のイベントへの参加を	各サークルの意向を確認しながら、積極的に取り組みたい	赤石勝子	平成25年5月
米-1グランプリの取組み強化	実行委員会で取組みができるか検討していただく	琵琶博之	平成25年8月
温泉ソムリエによる温泉のまちとしてのイメージ強化	観光協会等関係者の意見を伺いながら検討したい	琵琶博之	平成25年8月
幽泉閣の露天風呂の景観	現在の立地環境では困難である	中島溢子	平成25年8月
アライグマの激増について	北海道策定のアライグマ対策基本方針に基づき対策に取組む	中島信幸	平成25年8月
自然エネルギーの活用について	可能性について調査を進め、可能であれば検討したい	中島信幸	平成25年8月
将来の人口減推計に対する町政	蘭越町の限らない発展と町民の皆さんの幸せづくりに努める	中島信幸	平成25年8月
中心市街地の再開発について	住民参加のもと取り組みたい	富樫順悦	平成25年8月
町水道の漏水事故について	来年度から年次計画で改修工事を実施したい	富樫順悦	平成25年8月
フォトコンテストの活用方法について	発信力の高い情報発信について検討したい	琵琶博之	平成25年11月
外部チャンネルを活用した取組み	通信媒体や応援してくれる団体との連携も有効な手段である	琵琶博之	平成25年11月
公共施設白書の作成について	公共施設の計画的な対応のため、本町の行政コスト計算書の充実を図りたい	琵琶博之	平成25年11月
広域観光圏について	ニセコ山系3町で連携を図りながら取り組む	富樫順悦	平成25年11月
鉄鋼スラグの使用について	蘭越町では現在使用していない	富樫順悦	平成25年11月
地域再生に関しての一考	ケアハウスを広域連合の計画の載せることを検討している	熊谷雅幸	平成25年11月
蘭越町におけるネット依存の実態	児童生徒への指導とともに、保護者への呼びかけに努めたい	中島溢子	平成25年11月
蘭越町中心市街地の町づくり	中心市街地の活力を生み出す対策を講じる	中島溢子	平成25年11月
国の交通網整備について	新幹線トンネルの土砂は川上牧場へ、高速道路のルート案はない	中島信幸	平成25年11月
ほ場整備事業について	営農のしやすいほ場に設計	中島信幸	平成25年11月

尻別川の清流日本一による魚類の生息状況と内水面漁業の状況	鮎、やつめうなぎの資源量が減少している	中島信幸	平成25年11月
道の駅のトイレについて	今後の改修を実施する際に検討したい	赤石勝子	平成25年11月
曲子光男氏の絵画の展示施設整備	身の丈に合った規模で整備したい	琵琶博之	平成26年2月
電子書籍とらんこしショッピングサイト	電子書籍は取組みを参考に、ショッピングサイトは要請があれば検討	琵琶博之	平成26年2月
米の生産調整について	行政・関係機関・生産者が一体となって、難局を乗り越えたい	中島信幸	平成26年2月
地方交付税の削減について	現時点で影響を申し上げることは困難	中島信幸	平成26年2月
蘭越町の消防団員の確保について	支援策の充実など消防機関と連携し、消防団員の確保に努めたい	中島溢子	平成26年2月
蘭越町の全国学力テストの結果	調査の分析を基に学力向上のための活動を支援したい	中島溢子	平成26年2月
男女平等参画型社会の実現	政策決定・過程に関与、参画していただくことが一番重要	中島溢子	平成26年2月
臨時職員の正職員への登用	地方公務員法に沿った競争試験もしくは選考により取り進めている	五十嵐年和	平成26年2月
第1研修農場と第2研修農場のあり方	1戸4棟、4戸16棟を管理する研修体制に取り組みたい	福村正見	平成26年5月
定住対策の効果的な宣伝方法	小冊子と併せてホームページを活用する	熊谷雅幸	平成26年5月
研修後の研修生への農地提供方法	担い手農地情報活用事業を実施し、利用調整を図っている	熊谷雅幸	平成26年5月
地域包括ケアシステム	ケアハウス、共生型住宅について検討している	富樫順悦	平成26年5月
フッ化物洗口の安全性確認	保護者の同意を得て、希望する児童が実施する	中島溢子	平成26年5月
将来の夢と希望が持てるようにどのように取り組むか	第5次蘭越町総合計画を指針としたまちづくりに取り組んでいく	中島信幸	平成26年5月
中心市街地の活性化への対応	高齢者にやさしいまちづくり、空き地・空き店舗の利用について協議中	中島信幸	平成26年5月
道道磯谷蘭越線の共栄の未改良部分の状況	道道磯谷蘭越線はルート変更して事業化を予定	中島信幸	平成26年5月
水産振興の具体的な対応	水産資源維持増殖のため漁協関係者と協議し実施	中島信幸	平成26年5月
地場産業振興センターで乾燥食品等の製造はできないか	問題意識を共有し、積極的に消費拡大を目指してほしい	五十嵐年和	平成26年5月
1人暮らし高齢者の安否確認の方法	より一層充実した取り組みを実施したい	赤石勝子	平成26年5月
らんこし米のピーアールの看板の設置はどうか	看板設置の必要性を感じている	赤石勝子	平成26年5月
泊原発の再稼働と本町の原子力防災	住民の安心・安全のために総力挙げて取り組んでいく	柳谷要	平成26年5月
シャケ武士の戦略的な活用	支援要請があった場合に検討したい	琵琶博之	平成26年5月
温泉の観光振興の具体的な取り組みは	豊かな自然資源を生かした観光振興に取り組みたい	琵琶博之	平成26年5月
せせらぎまつり開催の趣旨	まちを元気にしたい、活気を取り戻したい	琵琶博之	平成26年5月
チセヌプリスキー場の検討状況	民間活力の導入も視野に入れ、引き続き検討したい	琵琶博之	平成26年5月
主要施設での公衆無線LANの整備	施設ごとに判断し、検討したい	琵琶博之	平成26年5月
住民作家プロジェクトの取組み		琵琶博之	平成26年5月
街灯及び交通安全回転灯の設置		中島溢子	平成26年8月予定
老人クラブの今後		中島溢子	平成26年8月予定
除雪委託に係る件		中島信幸	平成26年8月予定
道州制について		中島信幸	平成26年8月予定
農業改革について		中島信幸	平成26年8月予定
人口減対策		中島信幸	平成26年8月予定
空き家対策について		赤石勝子	平成26年8月予定